

記入例

業 績 書

No. 1

「〇△学修士」「修士(〇△学)」の2
パターンの表記があります。取得し
た学位を正確に記載してください。
(博士も同じです)

業績書作成日

2020年11月7日現在

氏名 今出川 太郎	学 位	修士 (法学)	博士 (法学)	Ph. D.
	取得年月	1995年 3月	2013年 3月	2016年 6月
	授与機関名	同志社大学	同志社大学	コロンビア大学

項目別	西暦 年 月	論文・著述・その他
修士論文	1995 3	論文名 例：「論文名」●●大学修士論文 ※英語表記の場合は“論文名”
博士論文	2013 3	論文名 例：「論文名」●●大学博士論文 ※英語表記の場合は“論文名”
著書 (単行本) 著書 (単著)	2020 5	書名、発行所名、巻号数(シリーズもの(全集, 講座, 叢書, 双書等)の1冊である場合)、著者名、総ページ数等 例：『書名』(発行所名)、著者名、全●頁 例：“書名”, 発行所名, 著者名, ●pages ※英語表記の場合 著者が1名の場合のみが該当します。担当部分が単独執筆であっても当該著書等に 記載された著者が複数いる場合には、共著に分類してください。
著書 (共著)		書名、発行所名、巻号数(シリーズもの(全集, 講座, 叢書, 双書等)の1冊である場合)、著者名、(総ページ数)、本人担当部分等 例：『書名』(発行所名) 共著者または監修者名等 *担当執筆箇所「第●章 タイトル●●」(pp. ●●~●●) 例：“書名”, 発行所名, 共著者または監修者名等 *担当執筆箇所 第●章, タイトル●●, pp. ●●~●● ※英語表記の場合 著者が複数の場合が該当します。担当部分が単独執筆であっても当該著書等に 記載された著者が複数いる場合には、共著に分類してください。 共著の場合は、原則として本人を含めて共著者名をすべて記載し、本人担当部分が 明確になるように(担当部分の章、節、題名、掲載ページ等)記載すること。 共著者多数の場合は、主な著者と本人を記載し、他○名とすることも可。
学術論文		論文名、著者名、掲載誌名、巻・号、掲載ページ等 学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものを 記入すること。 単著の場合 例：「論文名」、著者名、『掲載誌名』巻・号、 pp. ●●~●● 例：“論文名”, 著者名, 掲載誌名 (巻・号), pp. ●●~●● ※英語表記の場合 共著の場合 例：「論文名」、著者名 (共著者・本人の氏名を掲載順に)、 『掲載誌名』巻・号、pp. ●●~●● 例：“論文名”, 著者名 (共著者・本人の氏名を掲載順に), , 掲載誌名 (巻・号), pp. ●●~●● ※英語表記の場合 共著の場合は、原則として共著者名をすべて記載してください。 共著者多数の場合は、主な著者と本人を記載し、他○名△番目とすることも可。

同一項目の中
では、発行年の
古い業績から
新しい業績の順
に記載してくだ
さい。

単著の場合

共著の場合

記入例は2枚目に続きます。

*学位欄に学士は記入不要です。

学校法人 同志社

